

第 14 回 SC サテライト放送株式会社 番組審議委員会 議事録

1. 開催日時： 2022 年 11 月 28 日(月) 13 時 00 分 ~ 14 時 00 分
2. 開催場所： ショップチャンネル本社ビル、および Teams
3. 審議委員出席者：
委員総数 6 名
出席委員の氏名 音好宏氏 (委員長)・入江たのし氏・五井千鶴子氏・棚橋節子氏
楡山珠美氏・細川幸一氏

4. 事業者側出席者：

SC サテライト放送株式会社

代表取締役社長 佐々木 良太
取締役 宮内 正史
取締役 星野 友昭
取締役 上原 宏一
技術部長 風早 隆一郎

日本テレビ放送網株式会社

報道局 総合ニュースセンター

「日テレNEWS 24」プロデューサー 小倉 宏

株式会社 CS 日本

営業局次長 メディア営業部長 岸田 康人
編成局次長 NEWS24 編成部長 福本 径
営業局 メディア営業部 副部長 英 正規

ジュピターショップチャンネル株式会社

販売企画本部 プログラミング部長 江原 由美

5. 番組審議：

SC サテライト放送株式会社で放送するチャンネルの審議

- ① 「ショップチャンネル 4K」 (BS11ch)、
「ショップチャンネル」 (055c)

審議番組：シンクビー！ショップデビュー20周年記念番組ファンは集合下さい！

放送日時：2022 年 9 月 21 日(水) 19:00 ~ 20:00

● 審議委員意見

- ・ 番組冒頭に出演していた人がピンチヒッターで、本来のゲストが遅れて到着したのを見て、生放送ならではだな、と感じた。ピンチヒッターにもかかわらず、かなり商品知識が豊富で、非常に流暢にご説明されていたように思う。
- ・ 今回のような商品は、見た目でお買い求めになる方がほとんどではないかと思う。
(前回審議した)土鍋のように、機能を細かく説得する商品というより、パッと見たときに”何に合わせやすい”とか、モデルさんの着用シーンなど、そのあたりが

商品の命だと思うので、生産工程などを細かく説明いただくほどに、微妙なズレみたいところが気になってしまった。

- この番組を見ていたら1時間があっという間だった。なぜかと考えたら、ゲストの人が、「私たちは商品ではなく作品と呼ぶ」とお話していて、これだと思った。すごく美しいものを見て、目の保養になった。
- 番組内で、中国製との説明があったが、スワトウ刺繍の持つ高級感というところを、もう少し説明された方がよかったのではと思った。
- 濡れたときの手入れ・修理も含めて、日頃のお手入れはどうか。
- 一部の商品には、中国産という表示があったが、それ以外の商品の紹介時には表示がなかったように思った。
- 司会の方がマニキュアをナチュラルにし”作品”を目立たせるための配慮をしているのを見て、本当に大事に放送を務められた、という感じがとてもよかった。
- すごくカラフルで素敵な商品で、先ほども”こうした商品は見た目ではアピールするものだ”という発言もあったが、すごくアピールされていたと感じた。かつ気になるのは、中がどうなっているかだが、そういう説明も十分されていて、消費者が知りたいことをなるべく提供していてよかったかなと思った。
- 私自身シンクビー！というブランドを全然知らなかった。毎回感じることだが、”このブランドは有名だ”という前提で当たり前のように番組が進んでいくので、そうでない人に対して、どこのメーカーでどういうものなのか、というような説明があってもよいかと思った。その辺のスタジオ感というか共通の認識みたいなものがこちらにないと、疎外感というか、盛り上がってもなぜ盛り上がっているのかわからなかった。
- 女性中心の番組だからよいのかもしれないが、毎回ネーミングが大体カタカナで、”ブルーローズ”などといった、なんとなくわかるものもあるが、なかには、”ナンバー8”などというものもあり、番組内で説明もなかったので、なぜ”ナンバー8”という名前なのかずっと気になっていた。

* 放送事業者による説明：

シンクビー (Think Bee!) の Bee が蜂なので8、数字にかけて、”ナンバー8”としている。

- 私はシンクビー！を知っていて、キラキラ好きとしてはビジューが素敵だと思っていた。
- (バッグの) 表面は綺麗だが、裏面には何もついてなくて、片面だけじゃないかと思っていたが、番組内で、”洋服を傷めないために体に沿う側の片面にはビジューをつけてない”という説明があり、一見マイナス要素のようなところを、きちんと説明してプラスにするところはお見事だと思った。
- 素材表示について、例えば傘であれば”ポリエステル他”と表示されていた。もし

あと2つくらいの素材なら、”他”としなくても全部表示できるのでは、もしくは口頭で説明があってもいいかなと思った。

- 司会者のリアクションが、ややオーバーなものに感じ、視聴者が驚きたいのに、先に司会者が驚いてしまうので少し違和感があった。いい商品売りたい・伝えたいという気持ちはわかるが、驚きの”わぁ”にも、1から10まであるので色々工夫していただきたいと思った。
- ブランドをどのくらい知っているのかというのは人によってずいぶん違って、私は知らなかった派だが、知っているブランドでも少し説明があってもいいかなと思った。もちろん、”私は知っているんだぞ”という視聴者の優越感というのもあるのかもしれないが、導入はあった方がよいだろうと思った。
- スタジオの進行は流石で、細かな説明・解説が上手いなと思った。ブランド物であるがゆえに、肌触りや、持った時の感触など、もう少し説明する方がより伝わってくるのかなと思った。

●事業者発言

- 貴重なご意見と、称賛もいただけたので嬉しく思っている。シンクビー！は、ショッピングチャンネルでは20年続いているブランドであるものの、ご存じではない視聴者もたくさんいらっしゃる中、それらの視聴者を置いていかないような形で進行すべき部分もあったのではないかと感じている。
- この番組に限らず、長くやっているだけに、既存のお客様向けの番組進行をするようになってきているところは、私たちの抱えている課題と感じている。初めての方でも分かりやすく、ブランドの説明や背景をきちんとご説明できるような環境にはしていきたいと思っている。改めて、委員の皆様のご意見は、放送の現場にフィードバックしていきたいと思う。
- 黒地のものに関して、色落ちや、水に触れた場合は気を付けていただきたい注意書きは、商品の下げ札についており、WEB上ではメンテナンスの記載も入ってはいる。番組でもいいところだけを推すのではなく、できるだけお手入れ情報も入れるように、改めて努めたいと思う。
- 素材や原産国の情報が不足しているのでは、というご指摘に関しては、(画面左上の)商品情報の表示を適宜入れ替える形できちんと表示をしているものの、それでもなかなか皆様目に留まらないというところについては、司会進行役のキャスト側でフォローして対応していかなければと思う。
- 商品の見た目のきれいさだけでなく、スワトウの職人さんの技が生きている点や、洋服が傷むのでバッグの裏側にはビーズ刺繍が施されていないというような、パッと見ただけでは分からない部分のストーリーを伝えられるというのが、ショッピングチャンネルの番組の醍醐味と思っているので、そこは継続したいと思っている。

「日テレNEWS24」(349ch)

放送日時： 2022年9月5日(月)21時00分～21時30分

放送日時： 2022年9月17日(土)10時00分10時30分

● 審議委員意見

<週刊地震ニュース>

- ・ 25年間にも及ぶプレートの動きを図示していた点が、テレビならではのものだった。とてもわかりやすく、多くの言葉を尽くすよりも一目瞭然だった。
- ・ 有意義な企画だったが、「難しいことを易しく、易しいことを深く、深いことを面白く」、というような視点が、若干足りないのではと思った。もっと時間を延ばし、もう少し素人にわかりやすく、お年寄りや若い人にもわかるようなしゃべり方や説明をしていただけたらと思う。
- ・ このニュースに限ったことではないが、最近のニュース・報道・CMでは、見ている人や聞いている人に恐怖心を植え付ける表現が多い気がしていて、報道のあり方、伝え方のあり方を考えないといけない時代になっているのではと感じた。明るいことだけがニュースになりえないはわかっているものの、表現の仕方一つでかわってくるのではと思った。
- ・ 警戒させすぎるとは、というご意見もあったが、意外と忘れがちであるところからすると、大地震が起きる可能性があることに対してニュースを通じて、忘れずに用心すること、災害に対しての心構えなどを訴えているのだな、と好意的に受け止め、勉強となった。
- ・ 以前の画面と比較して、バナーの色が落ち着いて見やすくなったように思う。
- ・ 以前審議した番組では、一部に”AIナレーション”が採用されていて、違和感があると発言したが、今回はAIナレーションがなかったように思った。AIナレーションの採用方針を変えたなどあれば、ぜひ教えてほしい。
- ・ 番組内で、天気予報中にいきなりブレーキングが入ったが、その後一切フォローがなかった。”どこよりも早く”が報道の使命であろうが、1分ほど待って、一区切りついてからブレーキングを入れてもよかったのではないかな。
- ・ ニュースの最中に、まず文字の速報が出て、その後にブレーキングが入った。わざわざニュースの最中に、文字の速報を出す意味はあったのかと感じた。
- ・ 今後、毎週見ようと思って、録画予約をしたほど素晴らしい企画だった。週刊で伝えることで皆が危機意識を共有できるため、放送し続ける価値があるかと思った。
- ・ 自然災害に強いチャンネルにしていくことからすると、地震ニュースを週刊で振り返りをしながら、というのは重要だと思った。自然災害に反応が弱いキャスターへのトレーニングも重要だと感じた。

<皇室日記>

- ・ とにかくすばらしい映像だった。
- ・ 知らないことが多かったが、皇室外交の成果を的確に伝えてくださっているな、と感じた。皇室の人々に寄り添う姿がとても鮮明で、こういう報道は続けていただきたいと思った。
- ・ こういった形で戦争の悲惨さをフォローすることは重要なことだと思う。戦争の後始末ということも継続されているが、戦争自体がおかしいということ、ぜひテレビで放送してほしいと思った。
- ・ 報道の役割には、今起きていることを的確に伝えることもあるし、人々が忘れたものや焦点が当たっていなかったものに焦点を当てることもあると思う。
- ・ そういう意味でも素晴らしい番組だった。
- ・ このように掘り下げる番組は、地上波でも放送しているのか。番組が素晴らしいがゆえに、”日テレ NEWS24”だけの放送だともったいないなと感じた。
- ・ 歴史を知ることはもちろん大切だが、皇室礼賛的なものになりすぎるのは、と感じた。皇室に対して批判的なことも取り上げているのか、いないのかが気になった。
- ・ 日本テレビが長く取材してきた映像を改めて再整理することにより、皇室外交がもつ価値を確認することができる番組になっており、振り返りの価値は大きいと思った。

●事業者発言

<週刊地震ニュース>

- ・ 概ね好意的な評価をいただいたとの認識だが、もう少し素人にもわかりやすく、とのご指摘については、TV番組を制作する側としては、一番大事にしてやっている。本日のご意見を現場にフィードバックし、よりわかりやすい表現を追求していきたい。
- ・ AIナレーションについては、2年ほど前はそのような企画もあったが、現在では採用していない。AIナレーションの良し悪しということとは別に、出演者で読めるものは読む、ということで対応している。
- ・ 基本的に、企画もの番組を地上波で放送することはなく、日テレ NEWS24のみで放送している。地上波では時間的制約が厳しいために、なかなか実現できない一方、日テレ NEWS24 という、24時間ニュース専門チャンネルだからこそ放送できるもので、ここが日テレ NEWS24 の強み・価値だとしてご理解いただければと思う。
- ・ 速報の入れ方のご指摘について、若干乱暴に見えてしまうものもあるかもしれないが、とにかく情報として早くお伝えするというのが、我々の使命であろうと思って対応している。
- ・ 放送と同時にインターネット上でも24時間ライブで配信がなされていて、プッシュ通知機能を通じてブレーキングをお知らせする仕組みもある関係もあり、まず情報

を伝えることが第一だと思っている。

<皇室日記>

- ・ 皇室礼賛の向きがあるのでは、というご指摘について、今回の審議対象番組には、批判めいたものはないが、解説員がしっかりバランスを取って、様々な意見がある場合には、そちらも紹介しながら、事実と事実関係をお伝えすることを徹底している。決して礼賛ではないし、批判的な意見があれば、それらの意見も充分踏まえた上で番組を制作している、とご理解いただければ幸いだ。
- ・ 皇室日記では、解説員の経験や、日本テレビに過去の映像が豊富に蓄積されているということを最大限に生かし様々な角度から地上波ではお伝えできない情報を解説していきたいと思う。